

パラグアイ通信 No.6

2014年2月



La Vida en Paraguay

～パラグアイでの暮らし～

青年海外協力隊
平成25年度1次隊
メルセデス・ミルトス
小学校配属
豊橋市立南部中学校
夏目千秋

オラ ケ タール フェリス アニョ ヌエボ
¡Hola! ¿Qué tal? ¡Feliz año nuevo! (Happy new year)

南部中のみなさん、あけましておめでとうございます。(新年明けて一月以上経っていますが…)
2014年もみなさんにとって素敵な一年になりますように!

3年生はまもなく卒業ですね。悔いの残らないよう一日一日を大事に過ごしてください。1、2年生も次の学年につながるよう、一年のまとめをしっかりとってくださいね。自分の力を出し切って活躍できることを遠くから願っています!

さて、今回のパラグアイ通信では、授業の様子を紹介します。

1年生の算数の授業です。日本の小学校から贈られた計算ブロックを使って100までの数を勉強しています。子どもたちは、ブロックなどの教材を使った授業が大好きです。



5年生です。1年生と違って、机と椅子がくっついているのがわかりますか。ノートを広げるスペースが狭いのが難点です。机は黒板に対して、半円を描くように並んでいます。この日は、円の面積の出し方を勉強しました。

どの学年も週に1時間、情報の時間があります。2年生は、コンピュータで、計算練習やスペイン語の単語クイズをしたり、絵を描いたりしていました。



授業の様子は今後も随時紹介していきたいと思います。

文化紹介



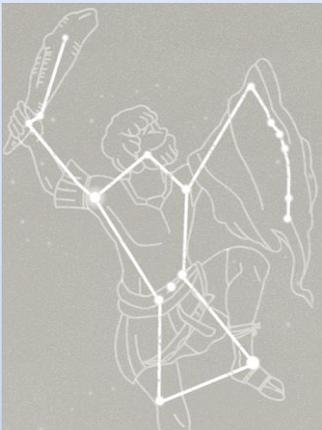
前回少しふれた 12 月 8 日「聖母受胎の日」。その前夜 7 日にカークペから 10 キロほど離れた町から、近所の人と一緒に歩いてお参りに出かけました。教会に着いたのは午後 10 時半頃でしたが、教会周辺には人、人、人。日本の花火大会を思い起こさせるような人ごみでした。信仰心の厚い人たちは、8 日のミサを近くで聴くため、何日も前から泊まり込みをしているのだとか。教会の近くまで何とか歩いて行けたのですが、座ったり寝たりしている人たちを何度も踏んでしまいそうになりました。右の写真は、昼間の教会の様子です。この日はきれいにライトアップされていました。12 時になり日付が変わった瞬間、花火があがり、お祝いの音楽が流れ、まるで新年のカウントダウンのような賑わいでした。



こちらに来て、何度か教会のミサに参列しました。これまで私の中では、宗教行事は「厳粛に、静かに行われるもの」でした。しかし、パラグアイのミサにはそういった部分だけでなく、明るさや華やかさもあり、パラグアイらしさを感じられます。

！パラグアイで出会った驚き！

冬の星座と聞いて、みなさんが一番に思い浮かべるのは何座ですか。「オリオン座！」と思った人、私と気が合いますね(笑)。さて、そのオリオン座、今パラグアイでも見ることができます。ただ、日本と同じようには見えません。同じ形ですが、見える向きや場所が違います。



左の図は日本とパラグアイ、それぞれの場所で見えるオリオン座です。

パラグアイではオリオンが逆さになっていますね。それはなぜか。

日本は北半球、パラグアイは南半球にあるからなんです。また、月や太陽も日本では「東→南→西」に動きますが、南半球のパラグアイでは「東→北→西」となります。

(日本での見え方) (パラグアイでの見え方) 初めてオリオン座を見たとき、これまで見てきた自分が知っているオリオン座とは違う見え方だと気づき、大きな衝撃を受けました。また、こちらに来てしばらくの間、方角がうまくつかめずにいたのも、「昼間太陽が昇っている方角が南」という感覚が体に染みついていたからだと思います。

知識として「北半球と南半球の違い」は学んできたはずですが、ほとんど意識せずに過ごしてきました。これまで当たり前だと思っていたことが、環境が変わったことで当たり前でなくなり、新たなものの見方や感じ方、考え方に出会うことができます。私のパラグアイでの任期は残り約 1 年となりますが、その中で出会った驚きや気づきを少しでも多くみなさんに伝えていけたらな、と思います。